

ゆうゆう通信

平成29年10月1日発行 第24号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047

夏祭り 【7/27(木) 入所】

今年もにぎやかに
恒例の夏祭りを
行いました

二階 一・二丁目

十四時からハナハウポリネシアンレビューのフラダンスとウクレレスターズのウクレレ演奏を楽しみました。ハナハウポリネシアンレビューは三歳〜八十歳の女性チームで、フラダンス、タヒチアンダンスを披露していただきました。利用者様は「フラダンスは泣けるほど良かった、とても素敵で子供は可愛らしく、大人は魅力的で両方楽しめました」と言われていました。又、ウクレレスターズの方々は、ハワイアン、童謡をウクレレで素敵な歌声に合わせて演奏をしていただきました。利用者様も夢中で「こんな、素晴らしい物を見せていただき大変嬉しかった」と話す方もいらっしゃいました。

二階 三・四丁目

二階では午前のおやつの時間に懐かしい綿菓子コーナーを設け多くの利用者様に楽しんで頂きました。数十年ぶりに食べたという方もいて、自身の幼少時代やお子さんの小さい頃のことを思い出し、懐かしい気持ちを感じて頂けたのではないでしょう。その他、輪投げや魚釣りに見立てたお菓子釣りも行いました。賞品がお菓子だったこともあり、普段見られない真剣な表情で参加されていました。職員の子供たちと話をしたり、握手をして笑って話す利用者様の姿を見てると職員も微笑ましい気分になりました。昼食は涼しげにちよつと豪華にちらし寿司、うなぎにスイカで、夏の特別メニューでした。数種類の中から好きな飲み物を選んでいただくドリンクバーも好評でした。

三階 さくら・すみれユニット

今年の夏は何かおかしな天気でした。梅雨の間ほとんど降らなかった雨は、梅雨明け宣言後にとにかくよく降りました。七月二十七日は気温二十九度、前日は三十四度、翌日は三十二度を超える真夏日のちようど真ん中の日でした。

共有の生活スペースの竹笹には短冊が結ばれ、仙台の七夕祭りを彷彿とさせる飾りが施されていました。普段ゆったりムードの三階Bチームの利用者様は、夏の暑さも祭りの熱気にもさらりとしていて、爽やかでした。

お散歩がてらに訪れた二階で綿飴やお菓子釣り、輪投げなどを楽しみました。フツと利用者様の笑顔は控えめでした。

昼食は職員と一緒に食卓を囲みノンアルコールで乾杯をしました。百四歳の利用者様も、ノンアルコールビールをグビグビ、プハーと飲み干しました。その日一番の笑顔が弾けました。午後はフラダンスを観賞し、目の保養になりました。



夏祭り

通所リハビリ

通所リハビリでは、八月七日(月)～十日(木)にかけて、恒例の夏祭りを行いました。今年も昼食に目替わりメニューのバイキングを楽しみました。

毎年地元の食生活改善推進委員の皆様ボランティアでご協力をいただき、焼きそばやたこ焼き、お好み焼きなどを目の前で作っていただき、出来たてのものをいただきました。

一人一人順番に、テーブルに並んだ様々な料理から一番美味しそうなものを選びました。中には一番大盛りのものを選ぶ方もいらつしました。

テーブルごとに(ノンアルコール)ビールやジュースで乾杯し、記念撮影を行いました。しばし夏の暑さも忘れ、楽しい時間を過ごしました。午後からはボランティアさんの演奏や宝釣りをして楽しみました。

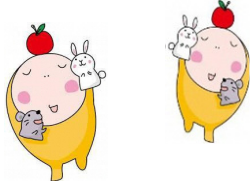


人形劇フェスタ2017

八月五日(土) 六回目となる飯田人形劇フェスタゆうゆう講演が二つの劇団により開催されました。昨年は大盛況で会場いっぱい約二百人近い入場者がありましたが、今年は混雑を避けられたのか一般の方、観覧を希望されたゆうゆう利用者様、スタッフ、合わせて七十人位の入場者でゆったりと観覧を楽しむことができました。

始めの劇団の『ふしぎな1デナリ』は大型の人形を使った「クリスマスキャロル」という演目で、クリスマススイブの夜に起こる不思議な出来事により心を閉ざしていた老人が改心していくという物語でした。人形が舞台の中で演技するだけでなく会場を動き回り、観ている人とも交流できる、とても奇抜な発想の人形劇でした。観ている人も急に人形が目の前に来て驚いたり喜んだり、とても楽しんでいました。

二つ目の『けこみ座』という劇団は大型紙芝居で「ともだちや」と「サーカスのライオン」という演目を行ってくれました。とても大きな紙芝居だったので、利用者様も「見やすかったよう」と言って喜ばれていました。また「わたしの時代には紙芝居屋があると聞いていたが見たことがなかった。今日、初めて見られてなかなかいいもんだと思ったに」と話す利用者様もおられました。





ますますの御健勝を
お祈りいたします

通所リハビリ

九月十一日～九月十四日にかけて通所リハビリでは敬老会を行いました。式典では、事務長からの挨拶の後、長寿の方から代表して挨拶をしていただきました。八十代後半から九十代の方々に挨拶をして頂いたのですが、皆さん、しっかりとした言葉で、とても心に残る挨拶をして頂きました。

催し物として、「範亜会」の皆さんによる三味線や民謡、「アルプスの会」の皆さんによる歌や三味線、「フラルアナ」の皆さんによるフラダンスを披露して頂きました。ゆうゆうからは毎年恒例のお花をプレゼントさせて頂きました。早速ご自宅に飾ってくれている方もいらっしゃると思います。とても心に残る敬老会になりました。



二階

九月二十二日(金)、九十五歳以上の利用者様を対象に敬老のお祝いをいたしました。対象となる利用者様のご家族様よりメッセージを頂き、ご本人にお伝えしながら写真付きのメッセージカードをお渡ししました。どの利用者様のメッセージも心のこもった内容で聞いているみんなが温かな気持ちになりました。その後は利用者様の生きる力になるように「酔鼓」さんによる和太鼓の演奏を聴きました。どの曲も力強く何人かの利用者様は涙を流して感動していました。演奏後に感想を聞くと「初めて聴いたが、とても良かった」「また、聴きたいので呼んでほしい」などの感想をいただきました。普段なかなか近くで太鼓の演奏を聴くことは出来ませんが、より一層元気に過ごすことができると思います。



三階

去る九月十五日(金)の午後、三階さくらユニットでは敬老会が盛大に開催されました。ユニット内で最高齢百四歳の方をはじめとして、二十四名の利用者様が参加しました。

今年の祝賀には、素敵な和装で身を包んだ「信州ちんちり連」のボランティア六名をお迎えし、長野の竜峡小唄や沖縄の阿里屋ユンタ等、県内外の代表的な民謡を十曲披露していただきました。

三味線と太鼓の演奏に合わせて、勇壮な歌声がユニット内を響き渡りました。中でも、高知の「よさこい鳴子踊り」では、利用者様一人ひとりに鳴子が配られ、歌に合わせて全員で打ち鳴らし、一体となって楽しまれている姿が印象的でした。その後お茶の席では、職員の方々が添えた感謝状と記念品のタオルを利用者様に贈呈。「嬉しかった」という感想が多く寄せられ、思い出話に花が咲く場面もありました。



新任職員紹介



栄養管理係
近藤 愛美

七月二十五日より、栄養管理係でお世話になって
います近藤愛美です。
調理の仕事に就いたのは初めてで、不慣れな事ば
かりですが少しでも早く仕事を覚えて、戦力になり
たいと思います。よろしくお願い致します。



リハビリテーション係
柴田 亮子

九月一日からお世話になっております理学療法士
の柴田亮子です。
リハビリを通して少しでも身体が動きやすくなっ
たと感じてもらえるように頑張りたいと思います。
リハビリ以外でも皆さんと色々なお話ができれば
いいなと思っています。
よろしくお願いいたします。

認知症カフェ

「ゆうゆうカフェ」がオープン

ゆうゆうに認知症カフェがオープンします。
読みかけの本を開くために、お気に入りのコーヒー
を楽しむために、忙しい日々にくつろぎを与えてく
れる「カフェ」。そんなカフェが「認知症」とコラ
ボレーションする「認知症カフェ」の取り組みが今
全国的に広がりをみせています。「聞いたことはあ
るけれど、具体的に何をやるのか？誰が利用する
のか？」と思う方も多いのではないのでしょうか。

「ゆうゆうカフェ」では、認知症の方ご本人と、
支えているご家族の方に気軽に利用して頂き、必要
時には認知症ケア専門士や認知症に関する資格を
持ち合わせたスタッフが相談にのらせて頂く事もあ
ります。一番は、「自分の家から一歩出る事で、病
気であることに引け目を感じることなく毎日を楽
しく過ごしていただきたい」そんな居場所を提供さ
せて頂きたいと思っています。初めての取り組みですが
職員一同がんばって準備を進めております。ぜひ、
認知症の方やそのご家族で居場所を探している方が
おられましたら、「ゆうゆうカフェ」をご紹介して頂
きたいと思います。第一回は十月二十二日(日)十三時
から十五時の二時間開催します。その後は毎月第四
日曜日に行います。詳しくは、一階受付にあります
案内をご覧ください。また、誰でも受講して頂ける
「認知症サポーター養成講座」を十月十八日(水)
と十一月一日(水)に開催します。ご興味がある方
は、ぜひご参加下さい。参加申し込みは、ゆうゆう
一階事務室で受け付けております。こちらも、年齢
職種等は問いませんので、ご家族でご参加いただき
認知症への理解を深めていただければと思います。

ボランティア募集

ボランティアをして頂ける方を募集します。
お年寄りと一緒に、介護したい方、針仕事の
補助なんでもお手伝いいただける方を募集
しています。詳しい内容、時間はスタッフと
相談させて頂きます。お問い合わせは、ゆう
ゆう内ボランティア係までお願い致します。

ゆうゆう 電話 五三一六〇四八

〈編集後記〉

暑い暑いと言いつつも、朝夕の肌寒さに
秋の訪れの淋しさを感じ、これから来る紅葉
の季節に期待を抱いたり何とも勝手なもの
です。全国各地では大雨による被害が相次い
でいましたが、今後も秋雨前線や台風などの
影響が心配ですね。そうなるとう頃頃の食卓に
も影響が出てくる為、主婦にとっては悩みの
種でもあります。そこは腕の見せ所！と思
考を変えて乗り切ろうと思います。(友)

ご本人やご家族が、気軽に立ち寄れる居場所として

介護老人保健施設ゆうゆう認知症カフェ
『ゆうゆうカフェ』
OPEN

いつか一人で悩んでいませんか？その不安や気持ちを誰かと共有して、話しておませんか？
同じ仲間と一緒に楽しみながら悩みを打ち明けたいと思われた時間を過ごしてください。
スタッフが皆様から相談やケアに答えていきます。みんなで心掛けていきましょう。

オープン日時	10月22日(日) 13時~15時 (以降 毎月第4日曜日 13時~15時開催)
場 所	ゆうゆう1階エールーム
利 用 料	100円(おやつ・飲み物代として) (10/22はプレオープンのため無料です)
事 前 予 約	開催日直近の金曜日迄に予約をお願いします。 (10/22はプレオープンのため予約不要です。)

【予約・問合せ】
鹿本市立病院 介護老人保健施設ゆうゆう内
認知症カフェ・総務 今村・城下
電話番号 0265-53-6048